

目標を明確に ～ふれずに進もう今学期～



小学校時代って、何を一番鍛えれば良いのだろう？ふとそう思うことがあります。

「学力向上」が叫ばれ、全国学習状況調査も回を重ねています。私たち学校は、その分析結果を受けて、良いところは更に伸ばし、不足している力は補おうと日々努力をしています。

しかし、学力だけでは無いよなあ。思い続けて30年が経ちました。子どもの頃、おとなしかったあの子が、人前に出て輝く仕事を……。わんぱくで叱られてばかりだったあの子が今では社長……。とか。逆もまた……。

そう考える時、人をより成長させてくれる要素は次のような事かなと思う今日この頃です。

- ① 自分は、誰かから愛されている、必要とされているという実感があること（承認）  
⇒困難にぶつかったとき、諦めずに乗り越えるエネルギーが湧くのでは
- ② 自分の強み（個性）がわかり、それを生かす術を積み重ねていること  
⇒何かに縛られることなく、自信を持ち自分らしく生きてゆけるのでは
- ③ 人の心がわかり、共感する力を持っていること（感性）  
⇒人は、多くの人との関わりの中で生きています。人生を左右する素晴らしい出逢いも、感じる心無しには……
- ④ 自分の可能性を信じ、最後までやり通す信念があること（耐性）  
⇒成功に達するか否かは、自分の心次第。「きっとできる！」可能性を信じきる力こそ、大きな鍵を握るのでは



あれあれ、結局、学校教育目標に、立ち戻りましたね！

2学期も職員一丸で努力して参ります。保護者、地域の皆様とPartnerになって(\*^o^\*)

学校には、素敵な言葉がいっぱい！

「志は高く 一步前進」

これは、本校の職員室に飾ってある短冊に書いてある言葉です。また、本校の階段には、「以心伝心」「一期一会」「臨機応変」など素敵な四字熟語も。このように学校には、素敵な言葉が満ち溢れています。私がこれまでの勤務地で出会った素敵な言葉を紹介しましょう。

【三学戒】

少にして学べば 則ち 壮にして為すこと有り  
壮にして学べば 則ち 老にして衰えず  
老いて学べば 則ち 死して朽ちず

【「教科日本語」（鳥栖市独自の教科）コーナ

○義を見て 為さざるは 勇無きなり  
○過ちて認めざる これを過ちと謂う  
○人遠き慮り無ければ 必ず 近き憂いあり

【あるクラスの掲示物】

負けたら終わりじゃなくて  
やめたら終わりなんだよね  
どんな夢でもかなえる魔法  
それは続けること（シーモ：コンティニューより）

言葉には、人を勇気づけたり道を教えてくれたりと凄い力がありますよね。様々な素敵な言葉に出逢い、自分を高めようとする柔らかな感性を子供達に持たせるためにも、学校、地域の言語環境を見直してみることも大切なことかも知れませんね。

～ホッと一息～

2学期が始まり驚いたことが……。その一つは子供達の成長。始業式が終わり退場する子供達が一回り大きくなり、私の目線も随分上がりました。6年生には「卒業式には抜かれているかもね」って。また、親子除草作業の翌週、改めて学校の敷地を見回し、「きれいになったなあ～」としみじみ。正しくピフォーアフターでした（ちょっと古い？）。最後は、登校班の様子。随分歩く速さが増しました。一番の要因は、1年生の成長です。逞しくなったなあ。安全確保の一つの手立ての登校班。実はもう一つねらいが。それは、心と体を鍛えること！本校の子はぜひ強い子に！

